

場所 修文大学・修文大学短期大学部
吉田記念館7階 大講義室

定員 前・後期各100名(抽選)

受講料無料(要申込)

2022

市民大学公開講座

修文大学

修文大学短期大学部

前期
テーマ

健康と病気について

◆午前10:00~11:30

10/5(水) 中高年をいかに健康に過ごすか
修文大学 教授 磯部 健一

10/12(水) 閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)について
修文大学 准教授 加藤 洋介

10/19(水) 笑う門には福来る!? 笑いと健康
修文大学 専任講師 夏目 恵美子

10/26(水) 病理ってなあに?
修文大学 教授 川井 久美

後期
テーマ

豊かな暮らしのために

◆午前10:00~11:30

11/2(水) 子どもの造形・表現への関わり方
修文大学短期大学部 専任講師 山川 昭大

11/9(水) 成長発達と老年期
— 老年期のメンタルヘルスについて考える —
修文大学 教授 茂木 泰子

11/16(水) おいしく健康ごはん
～ おいしく食べて、健康長寿を目指しましょう! ～
修文大学 専任講師 南 亜紀

11/30(水) 詩へのいざない
修文大学短期大学部 専任講師 青山 勇樹

対象者 一般成人(一宮周辺在住者)

締切 前期 9月14日(水) / 後期 10月12日(水)

新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては中止となる場合があります

修文大学
SHUBUN 修文大学短期大学部



一宮市教育委員会

一宮市・修文大学・修文大学短期大学部 包括連携事業

■申込先 / 一宮市教育委員会生涯学習課 ☎0586-85-7074(直通)
電話または電子申請

■主催 / 修文大学・修文大学短期大学部・一宮市教育委員会

▼電子申請はこちら



市民大学公開講座 講座内容

前期
テーマ

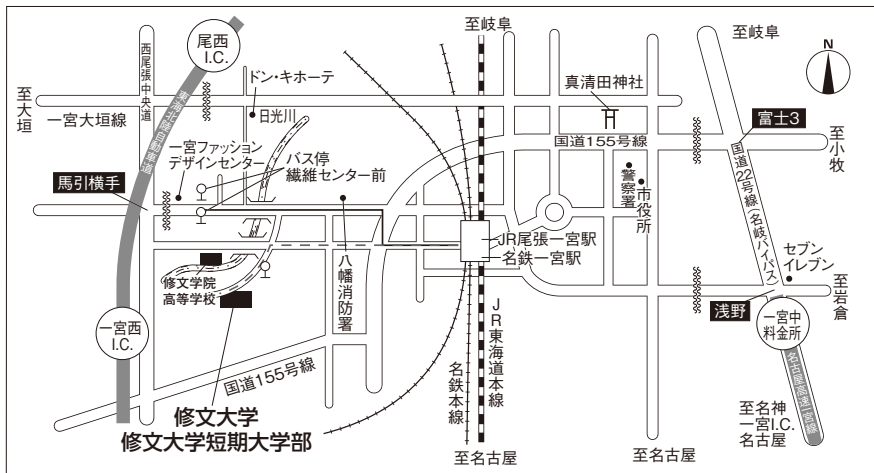
健康と病気について

後期
テーマ

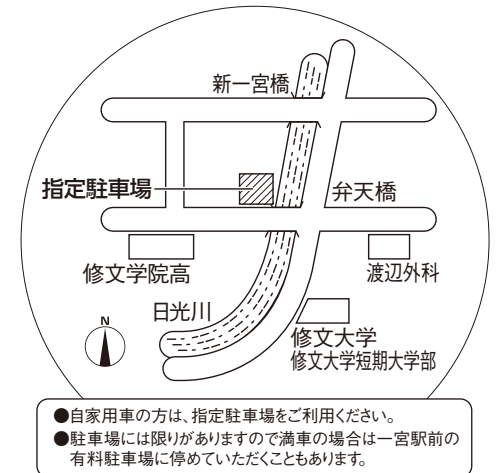
豊かな暮らしのために

期	月 日	演題・講師	内 容
前 期	1回 10/5(水)	中年をいかに健康に過ごすか 修文大学 教授 磯部 健一	私たちは誰も老化し、病気になります。老化のメカニズムはかなりわかってきました。また、病気になるメカニズムも免疫系から説明がつくようになりました。より健康的に中年を過ごすヒント、医学で治る病気を見逃さないことをわかりやすく説明します。
	2回 10/12(水)	閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (OSAS) について 修文大学 准教授 加藤 洋介	健康維持のためには、良質な睡眠が重要です。本講座では、睡眠障害の1つである閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)について解説します。OSASは様々な疾患の危険因子であることが報告されています。今までに私が関わった研究データも呈示しながら、OSASと各種合併症の関連についてもお話します。
	3回 10/19(水)	笑う門には福来る!? 笑い与健康 修文大学 専任講師 夏目 恵美子	「2025年問題」を迎えるにあたり、高齢の方やその家族はどんな心構えをもち、どんな準備をしておけばよいのか。病気予防の一番の秘訣は、ストレスをためずに毎日笑って暮らすこと。簡単な「笑いヨガ」でいつもより少し大きな声を出していきましょう。
	4回 10/26(水)	病理ってなあに? 修文大学 教授 川井 久美	婦人科検診、尿検査、胃カメラ、私たちは様々な機会に医療に接しますが、癌か癌じゃないかはどうやって診断されるかご存じでしょうか?誰でも一度はお世話になる、でも聞いたことはあまりない病理という分野についてご紹介いたします。
後 期	1回 11/2(水)	子どもの造形・表現への関わり方 修文大学短期大学部 専任講師 山川 昭大	私たち大人は、子どもの作品や、それを作った子どもにどんな言葉をかけているでしょうか。「上手」「本物みたい」「かわいい」という反応でよいのでしょうか。子どもの造形・表現への関わり方を、絵の見方や幼児造形の体験、世の中へのアンテナの張り方を通して考えていきます。
	2回 11/9(水)	成長発達と老年期 —老年期のメンタルヘルスについて考える— 修文大学 教授 茂木 泰子	人間の成長発達について、エリクソンの漸成的発達理論をふまえ、各発達段階を振り返り、老年期におけるメンタルヘルスについての現状と課題について考える。
	3回 11/16(水)	おいしく健康ごはん ～おいしく食べて、健康長寿を目指しましょう!～ 修文大学 専任講師 南 亜紀	毎日の食事にはどのような栄養が含まれているのでしょうか?健康的で栄養バランスが取れていますか?食べ物は身体を作り、生涯支えています。普段の食事内容を見直し、自分に適したおいしく健康的に食べる方法を一緒に考えてみたいと思います。
	4回 11/30(水)	詩へのいざない 修文大学短期大学部 専任講師 青山 勇樹	短歌や俳句はブームになっているのに、「詩」は「わからない」と敬遠されがちです。世界がたくさんの悲劇に覆われている今、感性を揺さぶるような詩が求められているのではないのでしょうか。皆さんを詩への旅へといざないます。

会場案内



駐車場案内



● 自家用車の方は、指定駐車場をご利用ください。
● 駐車場には限りがありますので満車の場合は一宮駅前の有料駐車場に停めていただくこともあります。